

がん教育の目的

わが国では、がんは死因の第1位であり、国民の生命と健康にとって重大な問題となっています。地域がん診療連携拠点病院である大阪南医療センターは、子どもに対するがん教育を目的として、がん医療の現場経験を生かして、学生（子ども）を対象とした「出前授業」を実施してきました。

しかし、出前授業の対象者だけでなく、より多くの子ども、そして大人の方にも「がん」に対する理解を深めていただきたく、インターネットサイトを立ち上げました。本サイトが、みなさんの健康の一助になればとお祈りいたします。

実施職種

- 医師
- 看護師
- 薬剤師
- 診療放射線技師
- 栄養士
- 臨床心理士（カウンセラー）
- ソーシャルワーカー（社会福祉士）
- 医療事務

サイトへのアクセス

大阪南医療センターのホームページ上にあるバナーもしくはQRコードよりアクセスして下さい。



<http://www.ommedc.jp/~cace/index.html>



お問い合わせ

独立行政法人国立病院機構
大阪南医療センター
がん教育プロジェクトチーム くすのき
〒586-8521
大阪府河内長野市木戸東町2番1号
TEL：0721-53-5761



子どもと大人のがん教育
がんってなに？

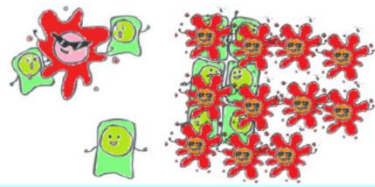
～WEBサイトのご紹介～

がんについて
一緒に学ぼう！



webサイト「子どもと大人のがん教育 **がんってなに？**」の使い方

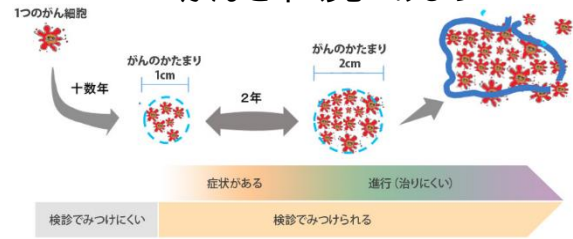
①がんってなに？ がんの発生やしきみ



がんって何か知ってる？ どうしてがんになるの？ がんが発生するしきみなどについて勉強できます。



③がんの早期発見 がんを早く見つけよう！



がんは、早く見つけることが大切です。がん検診の大切さや、検査の内容について、ご紹介します。

②がんの治療 どんな治療法があるの？

がんの治療は大きく分けて3つあります。それぞれの治療や効果、副作用について正しく理解しておくことが大切です。



④がんの予防 予防できるといね

がんにならないように、予防することも大切です。予防のために、気を付けてほしいことがあります。

タバコや煙の中には、**がん**を発生させる物質が約60種類含まれています。そのなかに、タール、ニコチン、一酸化炭素などの物質が入っていて、この3つを三大有害物質といいます。

この写真が たばこに含まれる「タール」です。1日に20本、1年間吸い続けるこれだけのタールが体のなかにたまりまます。

ニコチン 依存症によって脳にダメージを与え、さまざまな作用があります。

タール がんを発生させる物質です。

一酸化炭素 体を酸素不足の状態にします。

⑤がんになったときのサポート もしそれでもがんになったら？



がんになると、どのようなつらさがあるのでしょうか。そのつらさを和らげるためのサポートがあります。

⑥がんについてのクイズ がんについての理解度チェック！

「子どもと大人のがん教育 がんって何？」
きみは何帯？がんについての理解度チェック！

【クイズのやり方】
①まず、問題をクリック。
問題用紙をプリントアウトしてね
②頑張って問題を解いてみる
③問題が解けたら、解答でチェック！

問題 解答

本サイトで学んだことがどれだけ理解できているか、クイズでチェックしよう！

⑦関係機関の取り組み ⑧お役立ちリンクサイト集

がん教育に関連する関連機関の取り組みや、役に立つサイト集をみることができます。



ココもチェック！

【大人の方クリック】
大人の方に伝えたい情報の箇所に「大人の方クリック」マークを配置しています。大人マークをクリックすると、詳しい情報がポップアップで表示されます。

大人の方クリック